

京もの認定工芸士の有志会、初の展示会を1月9日(水)より開催します。 23名・13分野の工芸品に加えて、素材や道具の展示も実施します。

はじめまして。私は上京区で西陣織・金襴織物工場を営んでいる平居幹央と申します。記者さんにおかれましては、日々の報道活動に骨折りいただき、また、文化イベントの新情報を丁寧に届けていただきー市民として感謝しております。

私は京都府が認定する「京もの認定工芸士」の有志が集まったグループ「響(ひびき)」の代表を務めています。響は昨年の4月に発足した有志会で、工芸分野の垣根を越えて、様々な情報を共有し活動しています。このたび、この活動をさらに認知してもらうため、また、活動の幅を広げていくため、初の全体展示会を今年 2019年1月9日(水)～16日(水)に開催します。

本展示会では、23名、13分野の京もの認定工芸士(西陣織、京友禅、京焼・清水焼、京仏具、京竹工芸、京銘竹、金属工芸、京たたみ、京扇子、京漆器、京印章、神祇装束調度品)が各々の技術を用いた逸品を展示します。この中には、祇園祭で使われている「囃子鉦(はやしがね)」や神社に納められる「神座」など、ふだん間近で見る機会の少ない工芸品も並びます。また、作品の展示だけでなく、来場者に触れていただける素材や道具を展示するコーナーも設置し、畳の断面見本、友禅や陶芸に使われる染料や釉薬の「ビフォーアフター」色見本、おりんに使われている鋳型、金彩加工や彫金に使われる道具などを直接手にとってご覧いただける展示となっています。工芸士の中には中間工程に携わる職人もおり、ひとつの工芸品がどのようにつくられているのかを感じていただきたいという思いで構成しています。

職人技の魅力を多くの方々に広く発信していけたらと考え、プレスリリースをお送りします。お取り計らいいただければ幸いです。何卒よろしく願いいたします。

京もの認定工芸士会「響」第一回工芸展

日時:2019年1月9日(水)～16日(水)

10:00～16:30 (最終日は16:00閉場)

会場:京都伝統産業ふれあい館内イベントルーム

(京都市勧業館みやこめっせ 地下1階)

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1



<https://www.facebook.com/kyomonohibiki/>

<このリリースに関するお問い合わせ>

有限会社織匠平居

京もの認定工芸士会「響」代表

平居幹央

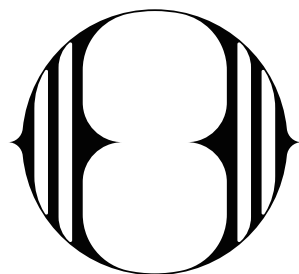
〒602-0066 京都府京都市上京区

小川通上立売上る射場町 551

TEL (075)431-0610 / FAX (075)431-0619

MAIL: h-micky@khaki.plala.or.jp

kyomonohibiki@gmail.com (響・代表メールアドレス)



HIBIKI

人前にあまり出ないので、
ドキドキしています。

第一回工芸展

京もの認定工芸士会「響」

2019年

1/9(水)~16(水)

10:00-16:30

※最終日は16:00閉場

会場:

京都伝統産業ふれあい館内
イベントルーム (京都市勧業館みやこめっせ 地下1階)
京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

「京もの認定工芸士」は、京都府が指定する「京もの指定工芸品」34品目の従事者のうち、特に技術に優れた職人に対して授与される称号。「響(ひびき)」は、この中でも有志が集った職人・作家グループです。工芸品は、いくつもの工程を経て作られることも多く、ふだんは表に出てこない職人もいますが、本展示会では彼らの手仕事も紹介します。



QR CODE

工芸の種類: 西陣織(手織法衣金蘭織)、西陣織(つづれ織)、京友禪(手描友禪)、京友禪(呉服金彩)、京友禪(引染め・ぼかし)、京竹工芸(竹編)、京銘竹(竹垣)、京漆器(蒔絵)、京仏具(箔押し)、京仏具(鳴物鋳造)、京焼・清水焼(絵付)、京焼・清水焼(成形)、京印章、京扇子(金彩)、京たたみ、京屏風・摺りも、京都の金属工芸品、京の神祇装束調度品

主催: 京もの認定工芸士会「響」 共催: (公財) 京都伝統産業交流センター 後援: 京都府、京都市

職人だけで企画した

初めての展示会なので

正直、手探り…。

ですが、

来てくださった方の

記憶に残るものにと

知恵をしばらくしました。

京もの認定工芸士会「響」^{ひびき}一同

西陣織

平居幹央 (手織法衣金襴織)
中尾友美 (つづれ織)
藤田恵子

京友禅

佐藤稚子 (手描友禅)
上仲正茂 (手描友禅)
眞鍋沙智 (手描友禅)
上仲昭浩 (呉服金彩)
古橋敏史 (引染め・ぼかし)

京焼・清水焼

並川昌夫 (絵付)
岡山高大 (成形)
柴田恭久 (成形)

京仏具

南條和哉 (鳴物铸造)
藤澤典史 (箔押し)

京竹工芸

細川秀章 (竹編)

京銘竹

真下彰宏 (竹垣)

京印章

河合良彦
河合祥子

京房ひも・燃ひも

鍵谷将宏

京都の金属工芸品

小林達也 (鋳金具)

京漆器

水内倫子 (蒔絵)

京扇子

米原康人 (金彩)

京たみ

太田成樹

京の神祇装束調度品

牧圭太郎

「工芸作品とともに、素材や道具もご覧いただける展示会です。」

「響」は主に職人歴 10～30 年の若手・中堅の職人で構成されたグループです。この展示会では 23 名の工芸士が各々の技術を用いた逸品を展示しますが、その中には、祇園祭で使われている囃子鉦 (はやしがね)、神社に納められる神座など、ふだん間近で見る機会の少ない工芸品も並びます。

さらに「見るだけに終わらない展示会へ」と、来場者に触れていただける素材や道具を展示するコーナーもつくります。たとえば、畳の断面見本、友禅や陶芸に使われる染料や釉薬の“ビフォーアフター”色見本、

おりんに使われている鋳型、金彩加工や彫金に使われる道具などを展示しますので、各職人がどのように作っているのか、ぜひじかに感じていただけたら幸いです。

「口下手かもしれませんが、自分の工芸分野なら話をするのは結構好きです。」

会期中は出展者 (京もの認定工芸士) が交代しながら、みなさまをお待ちしています。どの職人が会場にいるかは「響」Facebook ページにも掲載しますので、ご興味のある方は、ぜひご覧ください。シャイな職人も多いですが、お気軽にお声がけください。



<https://www.facebook.com/kyomonohibiki/>



京もの認定工芸士会「響」第一回 工芸展

日時: 2019年1月9日(水)～16日(水) 10:00～16:30 (最終日は16:00閉場)

会場: 京都伝統産業ふれあい館内 イベントルーム (京都市勧業館みやこめっせ 地下1階)

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

<市営地下鉄>

地下鉄東西線「東山」駅下車 1番出口より北へ徒歩約10分

<市営バス>

京都駅から…[5]銀閣寺・岩倉行き [100]清水寺・銀閣寺行き「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、
[206]祇園・北大路バスターミナル行き「東山二条・岡崎公園口」下車

四条京阪から…[46]祇園・平安神宮行き「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車、
[31]高野・国際会館駅・岩倉行き [201]祇園・百万遍行き [203]銀閣寺行き「東山二条・岡崎公園口」下車

四条河原町から…[5]銀閣寺・岩倉行き「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、[32]平安神宮・銀閣寺行き
[46]祇園・平安神宮行き「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車、[31]高野・国際会館駅・岩倉行き
[201]祇園・百万遍行き [203]銀閣寺行き「東山二条・岡崎公園口」下車

※お車でのお越しの方は、京都市勧業館みやこめっせ駐車場 (TEL: 075-762-2630) または市営駐車場 (岡崎公園駐車場 / TEL: 075-761-9617) をご利用ください。

京もの認定工芸士会「響」第一回工芸展 展示作品一覧表

作品名	名前	京もの指定工芸品名
西陣織袷袋用裂地「多色菱華紋」	平居 幹央	西陣織
西陣織（爪搔本綴織）時計「雪華」	中尾 友美	西陣織
西陣織（紬織）袋帯「薫風」	藤田 恵子	西陣織
夏物紋紗訪問着「蝶」	佐藤 稚子	京友禅
手描友禅訪問着「鳳凰」	上仲 正茂	京友禅
手描友禅訪問着「楽園への誘い」	眞鍋 沙智	京友禅
金彩 名古屋帯「団扇に流水」	上仲 昭浩	京友禅
ぼかし染め風呂敷「遠山スマイル」	古橋 敏史	京友禅
金彩蓋物	並川 昌夫	京焼・清水焼
青瓷金彩花器ペイズリー	岡山 高大	京焼・清水焼
竹節緑釉手付酒器	柴田 恭久	京焼・清水焼
祇園祭囃子鉦	南條 和哉	京仏具
ふれあい地藏	藤澤 典史	京仏具
竹ブリーフケース	細川 秀章	京竹工芸
金箔模様入り京銘竹衝立	眞下 彰宏	京銘竹
京印章「一統太平世界」	河合 良彦	京印章
京印章「雲中白鶴」	河合 祥子	京印章
修多羅	鍵谷 将宏	京房ひも・燃ひも
桜吊香炉	小林 達也	京都の金属工芸品
椿蒔絵飾箱、卵殻香合	水内 倫子	京漆器
京扇子「栄枯」「prayer」「五明扇 幽玄」	米原 康人	京扇子
格子蜀江花紋御神座仕立寿楽臺	太田 成樹	京たたみ
通し屋根三社御社	牧 圭太郎	京の神祇装束調度品

京もの認定工芸士会「響」第一回展示会 素材・道具展示目録 (予定)

「素材・道具」はすべて、来場者が触っていただけるもの。

<西陣織／平居、中尾>

- ・西陣織の生地、使用している絹糸、シャトル
- ・作品に使用している絹糸、シャトル
(つづれ織用のシャトルは他と少々形が異なる)

<京友禅／佐藤、上仲(正)、古橋、眞鍋>

- ・白生地いろいろ
- ・糸目糊、渋紙製・円錐形の糊筒、
- ・絵柄に糸目糊を置いた生地
- ・染料の蒸し前・蒸し後のビフォーアフター色見本
(紫色など濃い色ほど、蒸す前と後では色が変わる)
- ・同じ色でも、微妙な色違いをチェックした端切れ

<呉服金彩／上仲(昭)>

- ・金彩加工のサンプル (5、6種類)

<京焼・清水焼／並川>

- ・和絵具の焼成前・後のビフォーアフター色見本
(色がガラッと変わります)
- ・釉薬 (洋絵具) 色見本 (12色のパレット的なもの)

<京焼・清水焼／柴田>

- ・触ってもOKな食器
- ・シッタと削り道具
(器の裏の高台をつくる時に使用するもの)

<京仏具 (箔押し)／藤澤>

- ・金箔ボックス (実際に金箔に触れられるものを予定)

<京仏具 (鳴物鑄造[おりん])／南條>

- ・おりんの鑄型
- ・おりん
(ドレミファソラシドの音階が出るものを予定)

<京竹工芸／細川>

- ・丸竹からひごになるまでの工程素材見本

<京銘竹／真下>

- ・京銘竹全4種 (白竹、胡麻竹、囀面角竹、亀甲竹)

<京たたみ／太田>

- ・たたみの断面見本 (表面のござの下にある、わら、板がどのようになっているのか見られるもの)

<京都の金属工芸品 (鋳金具)／小林>

- ・展示作品に使用している銅板、球体にするための道具
(大小の鑿 (たがね) など)

<京漆器 (蒔絵)／水内>

- ・蒔絵に使用する道具

<京印章／河合さん>

- ・触っても大丈夫な印章 (はんこ)

※素材は竹など